



遍路とおもてなし通信

最新の活動報告などNPOの「いま」をお伝えします

2022.9
Vol.27

2022年度総会・シンポジウム開催

2022.6.18

香川県文化会館の芸能ホールにて、第17回通常総会とシンポジウムを開催。総会は29名、シンポジウムは63名の参加がありました。第1号議案から第6号議案まで全議案とも厳粛に審議され、満場一致で可決、承認されました。シンポジウムでは当NPO常任理事の松下直行氏が「現代遍路考と遍路道探索」と題して講演しました。

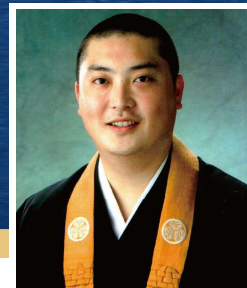


版画で巡る四国遍路の世界 6.18—6.26 金盛わたる「高松版画展」開催

香川県文化会館で開催した「金盛わたる高松版画展」は9日間で364名の来場がありました。「山門」「遍路小景」などテーマごとにわけて約260点を展示。6月24日には金盛わたるさんもお越しになりました。多色刷りの鮮やかさと風情のある版画に来場者からは「緻密な版画作品に感動した」「四国遍路はしたことがあるが、もう一度遍路道小景を楽しみながら巡ってみたい」との声が聞かれました。



志度寺の史跡指定をうけて



志度寺 副住職
当NPO 理事

十河 瑞澄

2022年6月17日、国の文化審議会が、国史跡「讃岐遍路道」に四国霊場86番札所志度寺の境内を追加指定するように文部科学省に答申しました。

世界文化遺産に推薦されるためには、まずは国内暫定リストに記載される必要がありますが、現在「四国遍路」はそのステージではありません。関係各所は暫定リスト入りするために、『資産の保護措置』、『普遍的価値の証明』、『地域との連携』という課題に取り組んでおり、今回の志度寺の国史跡への追加指定は、資産の保護措置を進めるということにあたります。

資産の保護のために、史跡指定や特別名勝への指定という方法を用いていますが、札所寺院の中からは、指定されることで「墓地の改修や納骨堂の建設が難しくなるのではないか」、「新たな建物や石塔が建てられなくなるのではないか」、「篤信の方の名前を石柱に残せないのではないか」、「生活空間の改修がスムーズに行えなくなるのではないか」など不安な声も聞こえます。

多くの札所寺院は、江戸時代から檀家を持たずに寺領の農地からの収入や、大名をはじめ地元有力者の庇護により境内空間を護持してきました。太平洋戦争終了後、GHQの農地解放により寺領を失い困窮した時代をむかえますが、瀬戸大橋を始め三橋の開通により、大勢の観光客やお遍路さんが四国に訪れるようになりました。その納経収入により、文化財の修理や建物の改修、お手洗いや駐車場の整備を行うことができました。しかし、近年巡拝者は減少傾向に転じ、さらに新型コロナウイルス感染症の影響もあり現在の寺院運営は厳しい状態になっています。

個々の寺院が境内空間の維持管理をできることが理想ですが、これからの文化財の維持管理は、国史跡指定という官の力と、支えてくれる地域の力がなければ難しいと思います。今後、志度寺の境内空間が整備されていく姿を見せることで、関係者の不安を解消し未来に向けた良いモデルケースになることを目指します。

皆さまにこれまでの感謝と引き続きのお力沿いをお願いして結びとさせていただきます。



▲志度寺の仁王門と五重塔



6月18日にリモート併用で開催された総会で、21年度の実績と22年度の活動計画が承認され、新年度がスタートしました。

当NPOもコロナ禍で活動に制約を受け続けていますが、21年度には一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」が成功裏に終わりました。そして「四国遍路を世界遺産に」を目指して、この活動をさらに発展させる枠組みも誕生しました。これに限らず当NPOもさらに活動を充実させるため、しっかりした体制を構築することが求められます。その第一歩として、執行体制の重層化と分散化を進めようと思っています。わかりやすく言えば「担当理事」制の導入です。スタートは会報と親子お遍路ウォーキングそして一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」5000人態勢構築について、それぞれ担当理事をお願いしました。事務局長と連携し事業を進めてまいります。

さらに会員との連携を密にするため会報の刷新と発行回数増に取り組みます。

四国遍路の世界遺産登録の灯も視野に入ってきているようです。

素晴らしい遍路文化をもつ四国を、そして当NPOをさらに発展させるべく、担当理事任せでなく、会員各位の積極的な参加とご協力をお願いします。

遍路大使・おもてなし大使

任命者数

遍路大使	自転車遍路大使
総計: 2004.4~2022.7.31	総計: 2014.7.21~2022.7.31
43,109名	916名
【月別】 2022年5月~7月 ()は外国人	【月別】 2022年5月~7月 ()は外国人
5月: 213名(4名)	5月: 17名(0名)
6月: 104名(2名)	6月: 6名(0名)
7月: 39名(2名)	7月: 5名(0名)

歩きまたは自転車遍路での結願者・おもてなし功労者へ授与しています。順打ちは前山おへんろ交流サロン、逆打ちは藤井寺近くのへんろの里で授与しています。詳しい情報・場所はホームページをご覧ください。



今年度の任命書の帯は黄色です！受け取られた方からの感想も募集中！

おもてなし大使

総計: 2014.7.21~2022.7.31

705名

2022.2.23 一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」のお接待のお礼として大影さん親子、美濃さん、安富さん、尾崎さん、大西さんの6名に授与



会員募集のご案内

世界遺産登録に向けて一緒に四国遍路を盛り上げましょう
皆様の温かいご支援をお願い致します。

当NPOは遍路に関わる各団体・個人のネットワークの形成に努め、遍路文化・おもてなし文化の活性化を通じて四国遍路の世界遺産登録を目指しています。一緒に活動しませんか。入会をご希望の方は入会案内をお送りしますので事務局までご連絡ください。



ホームページからも申込み可能！

買い物で遍路支援

めぐりんWAONカード

「めぐりん」「おもてなしめぐりん」「かがわおもてなし」3種のWAONカードは全国どこで利用しても、ご利用額の一部がNPOへ寄付されます。

ウエストアライアンス

ウエストアライアンス「インオフィスドリンクサービス」はご購入金額の一部が当NPOに寄付されます。ぜひご利用ください。



Henro Topics
できごとピックアップ

現在の活動報告と今後の予定など



第26回 外国人のためのお遍路体験でお接待

1

国境を超えて、遍路文化に親しんで

5月14日(土)に香川県国際課の主催で、在住外国人に歩き遍路を通して四国・香川の文化に対する理解を深めてもらおうと、第26回「外国人のためのお遍路体験」が開催されました。今回はスタッフとあわせて合計24名の参加がありました。今回はみの駅に集合し、弥谷寺から善通寺までの14キロを歩きました。お遍路は当NPOの大先達 福田理事などが同行し、お参りの仕方やお寺の説明を行いました。また甲山寺にてNPOスタッフが、ドリンク・アイス・お菓子・特製和三盆などのお接待もおこないました。この日は気温が高く、冷たいアイスが大変好評でした。参加者からは「歩くのは大変だけど、お接待で疲れがとれた」と嬉しい言葉をいただきました。

NPOスタッフと一緒に集合写真



2 親子お遍路ウォーキングの参加者・ボランティアスタッフ募集!

開催日決定 9月24日・10月15日・11月5日・11月26日

第1回は雲辺寺～本山寺のコースです。ご家族での参加はもちろん、体力に自信があり、子供が好きな方、参加者家族が安全にウォーキングできるよう見守り隊やお接待スタッフしてみませんか。みなさまのご参加お待ちしております。

詳しいスケジュールと申込みはこちら



▲2021年度の様子

New 会報をリニューアルしました

3

紙面で紹介しきれなかった写真も掲載しています



ホームページ



ブログ

NPO設立から16年を迎えました。会員のみなさまにはいつもご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。年2回発行してきた【遍路とおもてなし通信】ですが、今回より会報のデザインを変更し、年3回の発行となります。NPOの活動をカラー写真でより分かりやすくお伝えしていければと思います。今後も楽しみに!